



キッチン、料理するための場か？ ―世界各地のキッチン探訪―  
世界の台所探検家 岡根谷実里

おかねや みさと  
**岡根谷 実里**

- ・ 世界の台所探検家
- ・ クックパッド→独立
- ・ 訪問国/地域は60以上







# 台所の機能の多様性

# 日本の台所、100年間の変化

- 座る台所から立って動く台所へ
  - 大正デモクラシーの中で、作業性と効率改善
- ダイニングキッチンの登場
  - 戦後の住宅不足に伴い団地建設。限られた空間で寝食分離を実現するため。システムキッチン導入。
  - キッチンが生活空間と一体化
- 画一的な間取りの普及
  - 1970年代のマンション建設。限られた空間で寝食分離、公私室分離を叶えるため、3LDK住宅が標準化

世界の多様な台所を見てみよう

座って過ごす台所



# インドネシア スラウェシ島















ダイニングテーブルはあっても、  
台所で食べる？



# ブルガリア

























メキシコ













# タイ山岳部













ヌーク (nook)



ダイニングテーブル



バラバラに食べる機会が多い？ 来客が頻繁にある？  
ライフスタイルの中で生まれる、目的別の“二つの食卓”



# 非定型なインドネシアの台所

---

- ・ 多民族国家、多様な風習
- ・ 経済成長に伴って、貧富の差が拡大



# バリ：台所は独立した建物



出典：Bali Semara





## 富裕家庭：趣味のキッチンと調理用厨房





# 川沿いエリア：家の外に飛び出した川の上の台所



# 2050年のキッチンと食にむけて

- 座って過ごす台所  
→「過ごす、楽しむ」に重点をおいたら...?  
効率追求の料理はアウトソースできる
- 台所で食べる  
→小・単身世帯時代にあった食べる場の設計  
料理も食べることも小回りのきく形に？
- 非定型なインドネシアの台所  
→自分にとっての「理想の台所」を描けることがまず一歩かも